

2013-14年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

R I 会長 ロンド・バートン

1月はロータリー理解推進月間です。

国際ロータリー 第2580地区  
2013-14年度 ガバナー 吉田 建二



第2023回  
例会  
2014. 1. 29

創立50周年を目指し、  
新しい一歩を踏み出そう

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ  
第42代クラブ会長 田中 伸彦

次回例会案内 【2月5日(水)】

全員クラブ協議会

本日の例会  
卓話「源氏物語を読む」第2回  
小澤 弘子 様

## 第2022回例会報告

(2014年1月22日)

司会 清水 高彦 SAA (会場運営委員)

### 点 鐘

(田中 伸彦 会長)

### 幹事報告

(酒寄 好夫 幹事)

### 齊 唱

奉仕の理想  
ソングリーダー (原田 友義 会員)

### 〇例会臨時変更

- ・東京ベイRC  
1月23日⇒夜間例会
- ・秋川RC  
1月30日⇒夜間例会
- 2月6日⇒休会  
20日⇒19日(水) 地区大会送迎バス車中にて

### 〇第15回ロータリー国際団碁大会の案内

- ・4月19日(土)
  - ・台湾
- 詳細はGPFR日本支部幹事 太田清文(東京RC)宛

### 来客紹介

(田中 伸彦 会長)

### 〇ゲスト

小澤 弘子 様 (卓話講師)

### 会務報告

(田中 伸彦 会長)

〇2014~15年度RIテーマの発表  
「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)

〇インドNIDの件  
2月23日インド全国5歳以下の小児に対しポリオワクチン斉投与が行なわれます。参加希望の方は事務局へ申し出下さい。詳細等は個別に案内があります。

〇2012-13年度 国際ロータリーとロータリー財団年次報告がダウンロード出来ます。

〇東日本震災復興基金再会の案内  
申請の場合 横須賀商工会議所へ申請書を郵送  
〇切は2月28日

〇フリピン台風30号義援金一覧が届いています。(地区内分)

〇地区ローターアクト 11・12月活動報告が届いています。

〇青少年奉仕情報 第3号が届いています。

〇ハイライト「よねやま」166号が届いています。

〇第8回村山デエダラまつり全事業終了礼状が届いています。

〇青梅RCより「多摩いのちの電話」の卓話活用の案内が届いています。

〇社会福祉協議会より機関紙「こもれび」を頂きました。

〇第5回多摩分区連絡会  
2月5日(水) 当クラブホスト

### 出席報告

(原田 友義 会場運営委員)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
32名	23名	78.57%	なし

### 〇出席免除会員

栗原 高明 会員、網代 雅男 会員  
榎本 昭 会員

### 卓 話



「ときめく源氏の世界へ」第1回  
～ 男が読んででも楽しい物語 ～

小澤 弘子 様



○クラブ奉仕委員会 比留間 孝司 委員長

先月、クラブ奉仕委員会会議が新宿でありました。ロータリーの公共イメージ向上の広告を、ロータリーの創立記念日2月23日前後に渋谷の街頭テレビジョンに出すことになりました。6枚のスライドになっていて、1) ロータリーとは 2) ポリオ 3) 米山奨学 4) 青少年交換プログラム 5) 希望の風奨学金 6) 職業奉仕。これらについて、皆様にご意見を聞きたいので来月詳しくご案内いたします。

卓話

「ときめく源氏の世界へ」  
～ 男が読んでも楽しい物語 ～ 小澤 弘子様



～ 講師自己紹介 ～

親の代から青梅に住んでおりましたが、現在は羽村市に住んでおります。長い間青梅市の小学校の教師をしておりました。昭和50年頃より青梅市社会教育で講師を勤めております。青梅ロータリーでは3回卓話をさせていただいております。

「源氏物語」は平安時代、宮中に仕える紫式部が書いた長編小説である。「日本古典文学の最高峰」「世界最古のロマンス」と讃えられ、日本文化に大きな影響を与えている。物語が書き始められた年代は不明だが「紫式部日記」の寛弘五（一〇〇八）年十一月に、第五帖「若紫」が貴族社会で広く読まれていることを示す記述がある。これが「源氏物語」の存在が確認できる最初の記録で、二〇〇八年を「千年紀＝ミレニウム」と位置付ける根拠となっている。

物語は「桐壺」から「夢浮橋」までの五十四帖で、登場人物は四百人以上にのぼる。光源氏の栄華と苦悩の生涯が、多くの女性との関係を軸に描かれる。約八百首の和歌が、物語の奥行と重層性を増している。

「世界文学」として外国語訳も増え、絵画・オペラなど文化全般で作品の再生産が続いている。本居宣長の「もののあはれ論」を初めとして、多様な切り口の研究は尽きることがない。二〇〇八年の千年紀に合わせ、関連出版物の刊行やイベントが相次ぎ、源氏ファンの裾野が更に広がり、二〇一三年に十一月一日が古典の日に制定された。

第1回 平成26年1月22日（水）  
～ 男が読んでも楽しい物語 ～

飛鳥井すこしうたひて、月ごろの御もの語り、泣きみ笑ひみ「若者の何とも世をおぼさでものし給ふかなしさを、おとどの明け暮れにつけておぼし嘆く」など語り給ふに耐へがたくおぼしたり。尽きすべくもあらねば、なかなか片はしもえまねばず。夜もすがらまどろまず、文作り明かし給ふ。さ言ひながらも、ものの間こえをつつみて、急ぎ帰り給ふ、いとなかなかなり。御土器まゐりて、「酔ひの悲しび涙を灑く春の盃の裏」ともろ声に誦じ給ふ。

～ 解説 ～

飛鳥井を少し歌って、何か月もお会い出来なかったお話しを語り、その話に泣いたり、笑ったりして訪ねてきた頭中将が語るに、「若君が何とも悲しさをお思いにならないで、お元気に過ごしていられしゃる、そのかわいらしさをお爺さんのおとどが明けても暮れてもそのことを嘆いていられしゃる」などと聞いた光源氏がとても耐えられないとお思いになった。何か月も合わない間の話でとても云いつくすことができないので、かえって片はしも云う事は出来ない。一晚中一睡もしないで漢詩を作り、夜を明かす。そうは云いながらも、このお見舞いにきた頭中将はうわさが出ては大変だということで、急いでお帰りになってしまう。これはかえってお見舞いに来ていただかない方が良かったくらいである。別れ盃が回って来て「酔ったその悲しみに涙が注ぐこの春の盃の中」もろ声にじゅんじ給う。



ニコニコBOX (松村 慎一 親睦委員)

- ☀ 田中伸彦会長・酒寄好夫幹事⇒今日は小澤弘子先生卓話よろしくお願ひします。今回より3回の卓話をお願ひします。
- ☀ 網代総会員⇒57回目の誕生日を迎えました。早いものです。がんばりましょう。

◆ 今回計 15,000円 累計 1,042,500円

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日  
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ  
◎ 会長 田中 伸彦 ◎ 幹事 酒寄 好夫  
○ 副会長 比留間孝司 ○ 副幹事 網代 稔  
□ クラブ会報委員長 宮崎 茂夫 副委員長 倉内 淳  
委員 網代 雅男、野島 征、小林 邦雄、松村 慎一

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階  
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1  
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30～13:30  
◇ クラブ事務局  
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1  
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252  
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp